

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県立総合プール
- 2 指定管理者名：アクション福岡マネジメントグループ
- 3 指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日
- 4 施設設置目的：県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて健康増進と福祉の向上に資するため。
- 5 管理運営についての点検結果（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
 - (1)点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果：別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○県の方針に沿った各種施策を展開する。 ○本県体育・スポーツ振興の中核施設としての施設の設置目的を踏まえた管理運営を行う。 ○国、県、関係団体と連携した事業展開を行う。 ○公共性を担保し、利用者の利便性を高める運営を行う。 ○高齢者や障がい者に優しい、安全安心な施設の管理運営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて計画的に全国・九州・県内全域の各種スポーツ大会やイベント等を実施するとともに、県民のスポーツ活動や学校体育の充実のために施設の提供を積極的に行うことにより、スポーツ普及振興を行った。 ・年間を通じたプールの施設提供だけでなく、冬季にはスケートリンクを設置し、県民が多くのスポーツに触れる機会を提供し、冬季スポーツの競技力向上にも取り組んだ。 ・（一財）日本ユニバーサルマナー協会主催の検定資格を取得し、障がい者の利用対応スキルの向上を図った。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ○サービスの充実・改善を図り、利用者の参加機会を拡充する。 ○新規利用者の獲得に向けた戦略的、具体的な広報計画を策定し、広報・PR活動を行う。 ○隣接施設と駐車場利用の連携を図り、大規模大会等に備える。 ○利用者の立場に応じ、常に工夫、改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度利用者数124,304人 (対前年度比81.8%、28年度利用者数151,902人) ・隣接施設と連携してアクションフェアを開催し、プールの無料開放を実施。 ・県体育協会、競技団体、学校、行政機関等と連携し、全九州高等学校選手権大会、九州学生アイスホッケー選手権大会等の大規模大会が開催。また、福岡で初めてとなる西日本フィギュア大会を誘致する等、施設の利用促進を図った。 ・新聞折り込みチラシの発行（約25万枚）や館内でのポスターの掲示等を計画的に行うなど、広報活動を積極的に行い、利用者の拡大に努めた。 ・食堂エリアのリニューアル工事を実施し、リフレッシュルーム・キッズスペースを設置する等、施設の魅力を高める改修を行った。 ・利用者に対するモニタリングやアンケートを実施し、より県民のニーズに応えられるよう、サービスの向上を図った。 ・マナー研修等の職員研修を行い、公共の体育・スポーツ施設の職員として利用者に対して適切な対応ができるよう資質向上を図った。 ・スケートグラウンドオープンやスケート感謝デーでは、スケートリンクを無料開放し、施設の利用促進を図った。

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<p>○県民のニーズに応える各種スポーツ教室の開催や九州、全国規模の大会を積極的に受け入れることにより、利用料金収入の増加を図る。</p> <p>○利用者への良質なサービス提供を維持しながら、節電、節水等、光熱水費の削減に努める。</p> <p>○大会等行事に応じて、柔軟な職員配置を計画する。</p>	<p>・利用料金収入：実績額30,232千円（対前年度比59.6%、28年度50,761千円） 目標額31,869千円</p> <p>・事業収入：実績額13,979千円（対前年度比120.1%、28年度11,636千円） 目標額13,461千円</p> <p>・指定管理料：123,012千円（対前年度比96.4%、28年度127,646千円）</p> <p>・電力供給会社の見直しや不要な箇所の点灯時間を必要最小限にする等、効率的な管理運営を行い、電気使用料のコスト削減に努めた。一方、プールの清掃回数を増やしたことが影響し、水道使用料は若干増加した。 （電気使用料 対前年度比90.1%、水道使用料 対前年度比115.9%）</p> <p>・事前に大会主催者等と打ち合わせを行い、必要に応じて職員のシフトを組み直す等、柔軟な職員配置を行った。</p>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<p>○体育・スポーツの振興と利用者のニーズに応える観点から、必要なスタッフの雇用配置を行う。</p>	<p>・幼児・児童水泳教室開催時や利用者が特に多い時期にはスタッフを増員し、プールの監視体制の強化を図った。</p>
⑤施設管理上の個別事項	<p>○安全なスポーツ活動等を適切に指導できる体制を整備するとともに、災害や事故発生時に俊敏に対応できる体制を整備する。</p>	<p>・AEDを用いた心肺蘇生法等救急法や水難訓練に関する講習を職員に受講させ、安全に対する資質向上を図った。また、年間2回の避難・誘導訓練を実施し、災害や事故等発生時の適切な体制整備に努めた。</p> <p>・定期的な安全点検や不良箇所の改修等を行い、適切な安全管理に努めた。</p> <p>・損害保険に加入することにより、不測の事態に対応できる体制をとった。</p>

②点検結果

<p><input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った）</p> <p><input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり）</p> <p><input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った）</p> <p><input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）</p>	<p>【総合コメント】</p> <p>・熊本地震の影響で代替会場として大会を開催した昨年度と比較すると利用人数、利用料金ともに減少しているが、提案内容（目標額）は概ね達成している。</p> <p>・隣接施設（県立スポーツ科学情報センター）の指定管理者である利点を活かし、両施設を有効に活用したイベントを実施する等、施設の利用促進を図っている。</p> <p>・リニューアル改修を積極的に行い、利用者のニーズに応えるための管理運営を行っている。</p> <p>・利用者に対するモニタリングやアンケート調査を実施し、利用者のニーズに応じた管理運営を目指して、常にサービス向上に努めている。</p>
--	---